

■ ともに学んで ふれ合うまち 渋川 (渋川学区まちづくり協議会 子ども育成部会)

1 【活動の趣旨】

「いいな いいな ともに学んで ふれ合うまち 渋川」を合言葉に、学校と家庭と地域が関わり合いながら、大人と子どもが世代を超えて、ともに協力し合い、ともに学び、ともに喜びを分かち合えるまちづくりを目指し地域協働をすすめる。

2 【特徴的な活動内容】

○「じゃがいも収穫体験」

2月に地域の方と協力して渋川小学校の畑に植えたじゃがいもを子どもと大人が力を合わせて収穫することができた。

収穫したじゃがいもはみんなで分け合って持って帰ってもらった。家庭における食育が期待出来る事業であった。

《概要》日時：令和6年6月22日（土）

参加：子ども 73人 ・ 大人 64人



【じゃがいも収穫体験】

○「ぶんかいまつり」

小学生以上の児童を対象に立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BK C）にて学生団体 potential さんを講師にお迎えして講座を開催した。「ぶんかいまつり」とは、廃材分解イベントである。参加者をグループに分け、机に配置された廃材となったパソコンを「どれだけ細かく分解できるか」を競い合った。分解に興味を示した子どもが多く、1つの電子廃材を前に目を輝かせていた。スタートの掛け声とともに、小さな手がパソコンを細かく分解し始め、最初はぎこちない手つきだったが、徐々に工具を使いこなし、互いに協力し合いながら分解を進めていった。最も細かく、かつ正確に分解できたグループと協力して作業ができたグループが表彰された。まわりの大人は手伝いたくて仕方ない中、子どもだけでやり遂げた達成感で誇らしげな笑顔が見られた。また環境についての講義もあり、分解した廃材がリサイクルされる仕組みを学び親子で環境問題への意識を高めることができた。学生達の取り組みが地球環境にどう貢献しているのかを学ぶ良い機会となった。

《概要》日時：令和6年12月7日（土）

参加：子ども 25人 ・ 大人 19人



【ぶんかいまつり】

3 【実施にあたっての工夫】

屋外事業に関しては安全性を確保するため役員を多く配置した。

子どもの安全面を配慮しながら行った。

4 【事業の成果】

自然と触れ合うことで、地域の子どもと大人での会話が増え、役員や有志ボランティアの方へ感謝する気持ちを学ぶことができた。地域の大人や団体との交流ができる良い機会となった。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

子どもと大人とのつながりを大切に、地域ぐるみでできる事業を継続していく。